岩盤柱状図

調査名　小仁方一丁目8地区 急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　砂防 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	BP.No.23-1	調査位置	広島県呉市川尻町小仁方一丁目　地内	北緯	34°12'52.5734"
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	令和5年1月26日～令和5年1月31日	東経	132°40'48.8628"
調査業者名		照査技術者		管理技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH 12.46 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 31°	使用機種	試錐機	東邦DO
総削孔長	5.00 m								エンジン	ヤンマーNFD-9	ポンプ	東邦BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 % / 最大コア長 cm / RQD % (0 20 40 60 80 100)	記事	地質時代区分	孔内水位 m／測定月日 0.00
	12.31	0.15		砂質土	暗褐								表土		
1	10.96	1.50		礫質土	黄褐							0〔0〕 (100)	崩落性土砂。0.15～1.00m間、礫状コアを主体とする。1.00m～砂・礫を主体とする。		
2												27〔40〕 (100)	硬質岩盤状態を示す。亀裂少なく、短柱状～柱状コアを採取する。		
3												15〔38〕 (100)	班状組織が見受けられる。コアは、ハンマーで叩くと、軽い音を発する。		
4												28〔59〕 (100)	全体的に、岩肌は粗く、若干の風化を受ける。CH級に岩級区分され、中硬岩相当の岩質を示す。		
5	7.46	5.00		花崗斑岩	桃灰	w2	h1	C	ll	b	CH	34〔49〕 (100)			

標準貫入試験 深度-N値	N値	深度 m	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	削孔月日	削孔速度 cm/h	孔径mm・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/min
	4	1.15 / 1.45	1	2	1	4/300	1/27	70	66 B2	D/MC	20	80	-	
貫入不能	-	2.00 / 2.00	50/0			50/0			66 B2	W/D				
貫入不能	-	3.00 / 3.00	50/0			50/0								
貫入不能	-	4.00 / 4.00	50/0			50/0	1/30							
貫入不能	-	5.00 / 5.00	50/0			50/0	1/31	58	66	W/D	30	230	1.0	12

株式会社アース開発コンサルタント